

相談支援活動の報告

(平成22年4月分～平成22年8月分)

平成22年10月4日

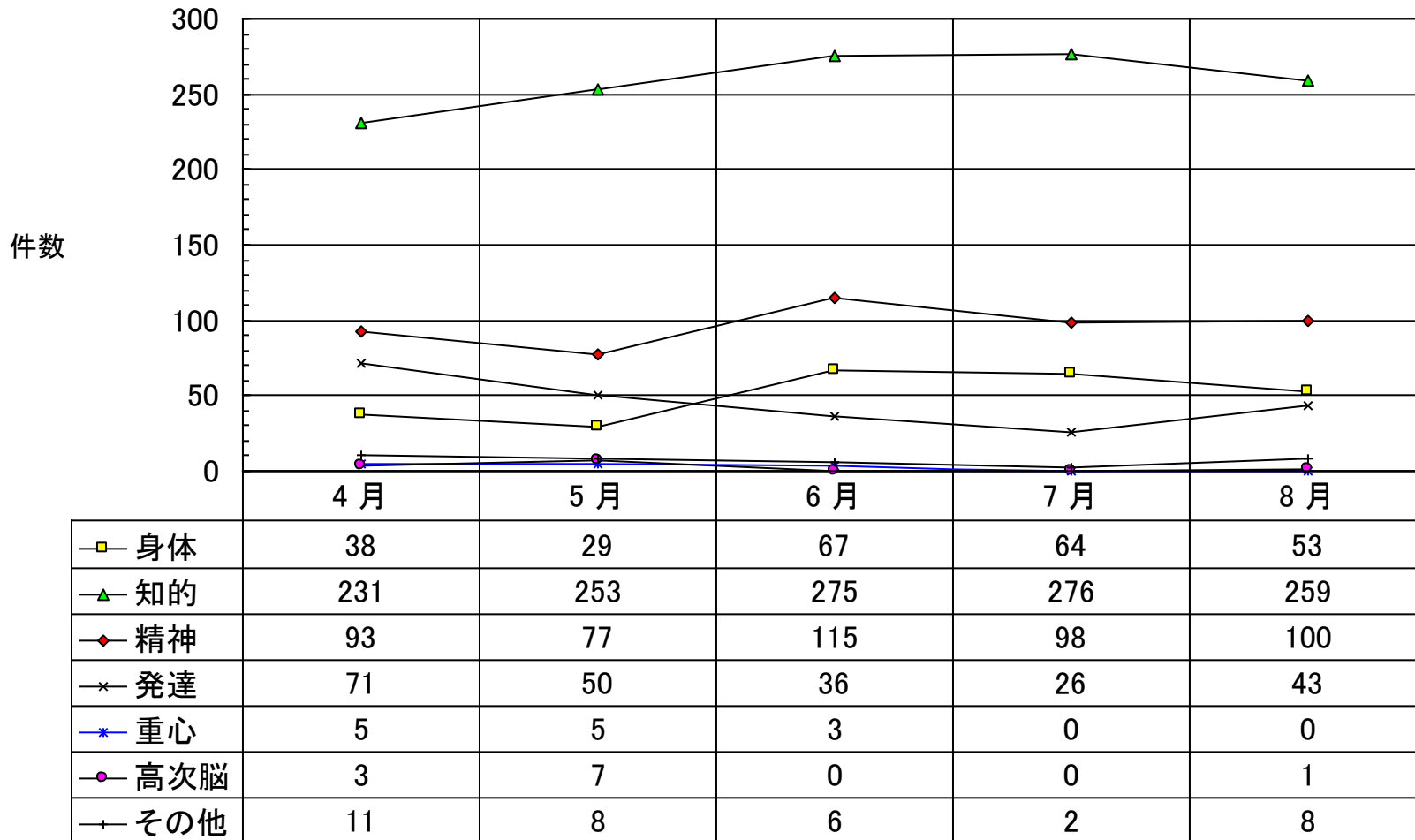
三条市地域自立支援協議会連絡調整会議

目 次

1	相談件数の推移	1 P
2	相談件数の比較	2 P
3	相談内容の傾向	3 P
4	相談内容集計表	4 P
5	平均相談回数（月単位）	6 P
6	児・者の割合	6 P

- 相談件数は知的障がい、精神障がい、身体障がい、発達障がいの順に多い傾向にあります。
- 相談件数の最も多い知的障がいは、全体の56%を占めています。

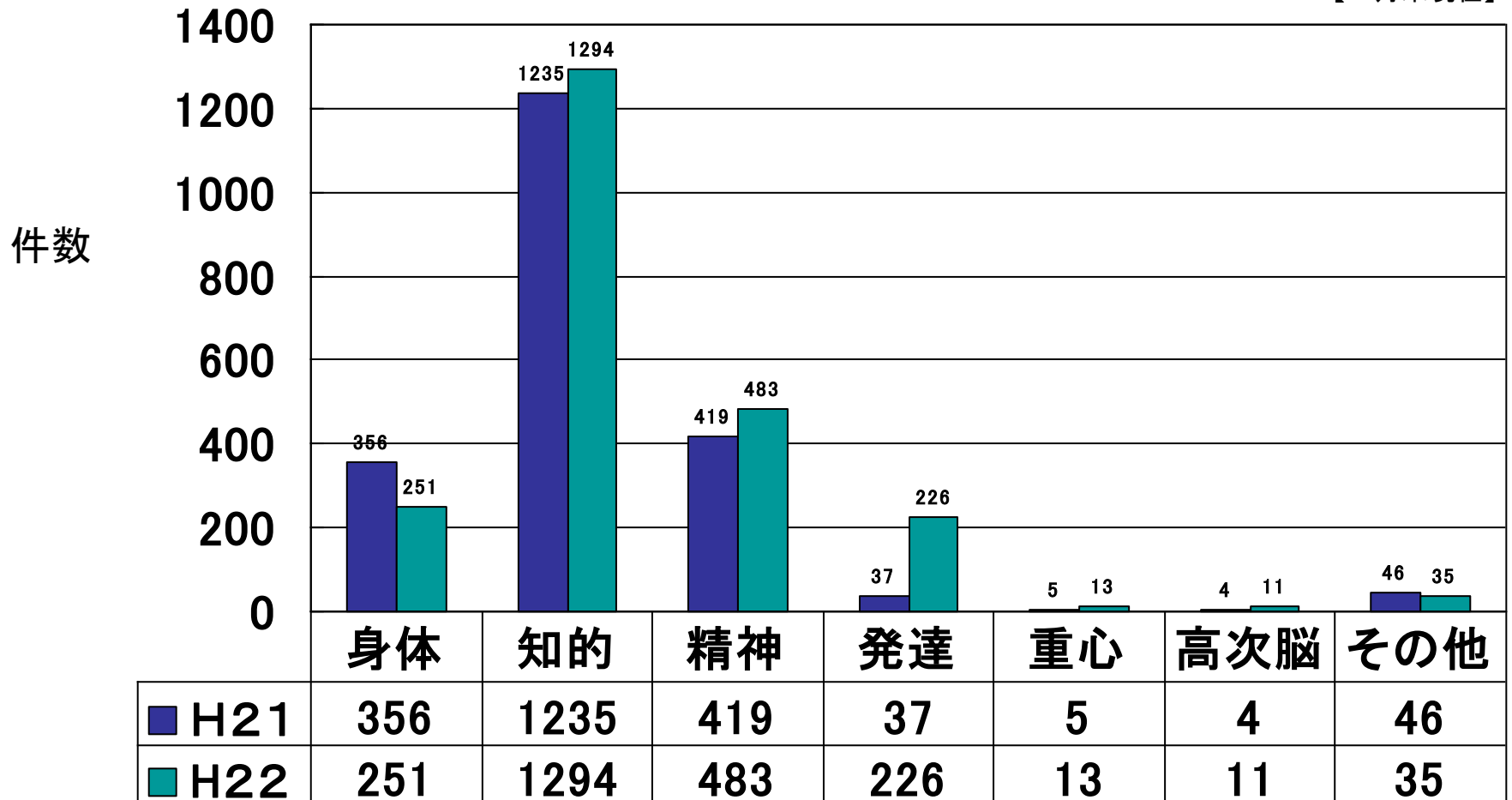
1 相談件数の推移



2 相談件数の比較

- 8月末時点の相談件数を比較すると、昨年度に比べ、発達障がい、精神障がい、知的障がい、重症心身障がい、高次脳機能障がいの順で増加しています。
- 相談件数が最も伸びている発達障がいは、前年比611%の伸びとなります。
- 相談件数が最も多い知的障がいは、前年比5%の伸びとなります。

【8月末現在】



3 相談内容の傾向

- 身体障がい 障がい福祉サービスの利用に関する相談が多い傾向にあります。次いで、健康・利用に関する相談が続きます。
- 知的障がい 障がい福祉サービスの利用に関する相談が多く、全体の41%を占めています。次いで、健康・医療に関する相談が続きます。
- 精神障がい 不安解消・情緒不安定、健康・医療、障がい福祉サービスの利用に関する相談が多く、この3つの相談で、全体の73%を占めています。
- 発達障がい 健康・医療、不安解消・情緒不安定、家計・経済に関する支援、家族関係・人間関係に関する相談が多く、全体の88%を占めています。

※ 重症心身障がい、高次脳機能障がい、その他については、傾向を判断するには件数が少ないため、現時点で傾向を断定することはできません。

各障がい別・内容別の相談件数については、4～5ページに掲載しています。

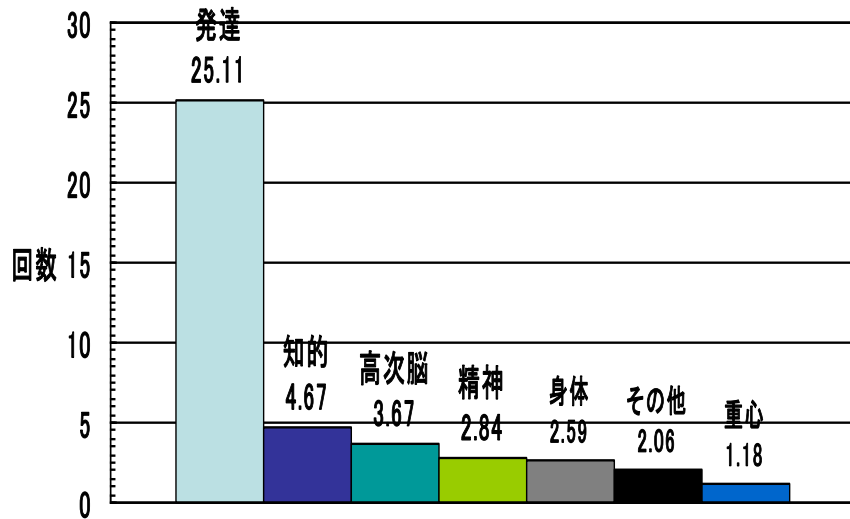
4 相談内容集計表(2-1)

1/2

種 別	件 数					
	福祉サービスの利用等に関する支援	障がいや病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
身 体	122	1	52	1	0	4
知 的	525	20	176	91	6	126
精 神	113	10	120	122	0	28
発 達	1	20	63	51	0	42
重 心	12	0	1	0	0	0
高次脳	8	0	1	0	0	2
その他	8	17	0	0	5	0
計	789	68	413	265	6	202

種 別	件 数					
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会活動・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
身 体	5	4	4	49	0	9
知 的	125	141	10	5	31	38
精 神	24	17	10	37	2	0
発 達	44	0	1	0	0	4
重 心	0	0	0	0	0	0
高次脳	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	9	0	0	0
計	199	162	34	91	33	51

5 平均相談回数(月単位)

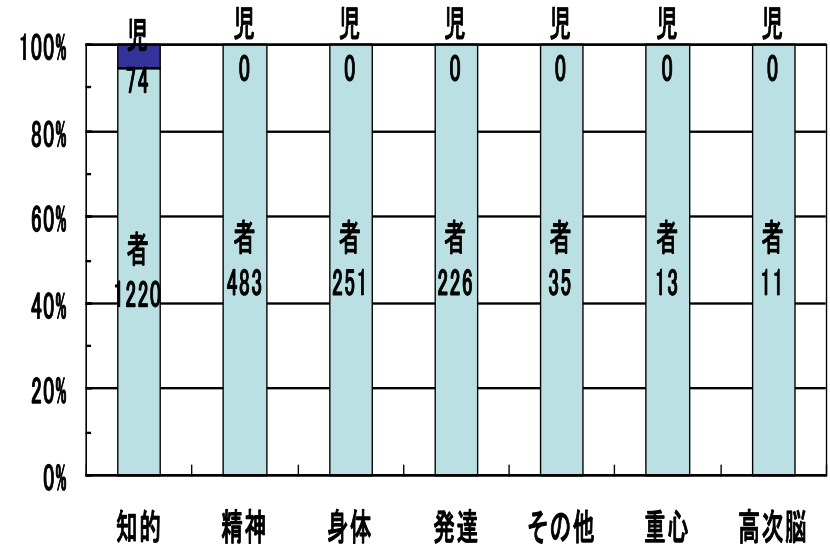


- 平均相談回数の多い順から発達障がい、知的障がい、高次脳機能障がい、精神障がいと続きます。
- 平均回数が最も多い発達障がいは、25.11回で、次に多い知的障がいが4.67回です。

○ 算出式

$$\text{平均相談回数(月単位)} = \frac{\text{延べ相談件数の合計}}{\text{相談実人員(月単位)の合計}}$$

6 児・者の割合



- 8月時点で、児童の相談があったのは知的障がいのみです。
- 知的障がいで、児童が占める割合は、6%です。